

資料提供  
 令和6年3月29日  
 課名 新型コロナウイルス感染症対策担当  
 (感染症・疾病管理センター)  
 担当者 西川  
 電話(直通) 082-513-3068  
 (内線) 3068

## 広島県感染症発生動向月報

[ 広島県感染症予防研究調査会 ]

( 令和6年3月解析分 )

### 1 今月のトピックス

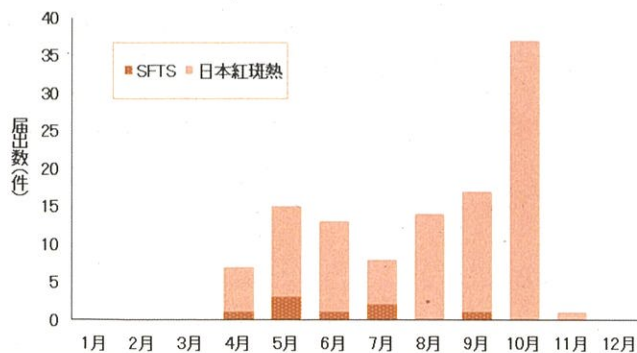
#### 暖かくなると、マダニによる感染症に注意しましょう！！

気温の上昇とともにマダニの活動が活発になるため、この時期から、マダニが媒介する感染症への注意が必要です。畑仕事、草刈り、山菜等の採取をされた方や60歳以上の方が多く感染しています。草むらや藪に入るときには、長袖、長ズボンの着用、忌避剤の使用等によりマダニに咬まれないよう注意しましょう。

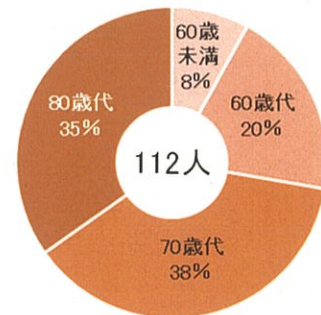


フタトゲチマダニ

マダニが媒介する感染症の発生状況(R5年 広島県)



年齢別発生状況(R5年 広島県)



疾病名	潜伏期間	症 状		発生件数	
		初期症状	特 徴	R4年	R5年
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	6~14日	倦怠感 悪寒 急な発熱 (38~40℃)	消化器症状：食欲不振、嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血 その他の症状：頭痛、筋肉痛、神経症状（意識障害、けいれんなど）リンパ節腫脹、呼吸器症状、出血症状（紫斑）	8	8
日本紅斑熱	2~8日		発疹：発熱の後にやや遅れて、四肢や体幹部に米粒や小豆大の紅斑（痛み・かゆみはないが手のひらにも出現） 刺し口：腹部や背部、外陰部、大腿部など隠れた部分に多い	89	104

#### 【感染予防策】

- マダニに咬まれないようにすることが重要です
    - ☑ 屋外活動時は長袖、長ズボン、足を完全に覆う靴、帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等の対策を取ることで、マダニが服や髪の中に入り込まないようにすること
    - ☑ 屋外活動後は、体や服をはたき、マダニが体についていないか確認すること
    - ☑ 吸血中のマダニを見つけた場合は、できるだけ医療機関で処置してもらうこと
    - ☑ マダニに咬まれた後に、発熱等の症状があった場合は、直ちに医療機関を受診すること
- 詳しい情報は、広島県のホームページをご覧ください。



広島県 マダニ [検索](#)

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和6年2月分(令和6年2月5日~令和6年3月3日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	7,575	16.87	5.63		11	ヘルパンギーナ	4	0.01	0.03
2	新型コロナウイルス感染症(covid-19)※1	4,279	9.53			12	流行性耳下腺炎	3	0.01	0.06
3	RSウイルス感染症	56	0.20	0.28		13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01
4	咽頭結膜熱	388	1.40	0.33		14	流行性角結膜炎	74	0.97	0.34
5	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	797	2.88	1.07		15	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.00
6	感染性胃腸炎	2,450	8.84	5.81		16	無菌性髄膜炎	0	0.00	0.01
7	水痘	24	0.09	0.15		17	マイコプラズマ肺炎	2	0.02	0.06
8	手足口病	86	0.31	0.12		18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00
9	伝染性紅斑	2	0.01	0.12		19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.02	0.15
10	突発性発しん	38	0.14	0.23		※1 第19週(5/8~)から五類に変更。				

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和6年2月分(2月1日~2月29日)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	63	2.74	2.83		24	メシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	73	3.48	3.09	
21	性器ヘルペスウイルス感染症	22	0.96	0.92		25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2	0.10	0.07	
22	尖圭コンジローマ	15	0.65	0.57		26	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0.00	0.04	
23	淋菌感染症	17	0.74	1.03		※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

発生記号(前月と比較)

急増減			1:2以上の増減
増減			1:1.5~2の増減
微増減			1:1.1~1.5の増減
横ばい			ほとんど増減なし

急増減疾患!!(定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患 RSウイルス感染症 (0.07 → 0.20)  
○急減疾患 なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患、月報対象7疾患)について、県内177の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1~12	13, 14	20~23	15~19, 24~26	
定点数	43	70	19	23	21	176

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	37	結核(37)[西部保健所(3)、西部東保健所(4)、東部保健所(7)、北部保健所(2)、広島市保健所(9)、呉市保健所(4)、福山市保健所(8)]
三類	5	腸管出血性大腸菌感染症(5)[広島市保健所(5)]
四類	3	レジオネラ症(3)[西部東保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(1)]
五類	31	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(2)[呉市保健所(1)、福山市保健所(1)]
		クロイツフェルト・ヤコブ病(1)[福山市保健所(1)]
		ジアルジア症(1)[福山市保健所(1)]
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症(2)[広島市保健所(2)]
		急性脳炎(1)[広島市保健所(1)]
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)[西部保健所(1)、広島市保健所(1)]
		水痘(入院例)(2)[西部保健所(2)]
播種性クリプトコックス症(1)[東部保健所(1)]		
		梅毒(19)[西部保健所(1)、東部保健所(4)、北部保健所(1)、広島市保健所(11)、福山市保健所(2)]